

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、子どもの教育格差・選択格差の解消に必要な瀬戸市独自の取り組みについて</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差の解消を目指して、平成 25 年 6 月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、以降、令和元年 6 月に同法の一部改正がなされ、同年 11 月には、「子どもの貧困対策に関する大綱」が閣議決定されています。</p> <p>この大綱の基本方針は、市町村において、福祉や教育等の取り組みの過程で得られた個別の子どもの状況に関する情報を活用して、支援を要する子どもを広く把握し、効果的な支援につなげていくことなどが盛り込まれています。</p>	<p>(1) 貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差の現状について</p> <p>(2) 貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差の解消に関する対策について</p>	<p>① 内閣府の「令和 3 年子どもの生活状況調査の分析報告書」では、貧困線未満（等価世帯収入の中央値の 1/2 未満）の世帯の保護者と子どもが直面する困難さが明らかになっていますが、瀬戸市における実態をどのように把握しているのか伺います。</p> <p>② 龍谷大学の松岡亮二准教授の研究では、子ども本人では変更できない出身家庭の社会経済的地位 (SES) によって、学力や最終学歴などの教育成果に差がある傾向を「教育格差」と呼ぶと定義しています。こうした、貧困の連鎖が招く子どもの「教育格差」の存在について、どのように把握しているのか伺います。</p> <p>③ 「教育格差」の問題として、世帯収入と学力の因果関係に焦点が当たっていますが、それとは別に、学力のある子どもが進学を希望しても実現できない「選択格差」の問題は見落としがちであるといえます。そうした実態の存在について、どのように把握しているのか伺います。</p> <p>① 瀬戸市として教育格差・選択格差の解消に向けた取り組みは、何かされていますか。</p> <p>② 上記①の取り組みに、教育創造基金は使われていますか。</p> <p>③ 瀬戸市の「教育創造基金」と「子どもの今・未来応援基金」に関する目的を確認します。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>こうした取り組みを目に見える形にしていくためには、机上論よりも、どうやって実行していくかが重要であり、自治体自ら積極的に取り組むべき政策だと思います。</p> <p>そこで、今回の質問は、それらの認識として共有できる部分を確認したうえで、私なりの提案をさせていただき、更に、提案の実現の可能性について市の見解を伺います。</p>	<p>(3) 瀬戸市独自の取り組みの考え方と推進体制について</p>	<p>④ 教育格差・選択格差の解消に関する対策について、「教育創造基金」や「子どもの今・未来応援基金」を使用すべきと考えるが、見解を伺います。</p> <p>⑤ これまでの市の取り組みを踏まえて、貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差のない社会を実現するために、今後、どのような施策が必要と考えているのか見解を伺います。</p> <p>⑥ 上記⑤を実行するために、どのような課題があるのか伺います。</p> <p>① 貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差のない社会を実現するための取り組みは、未来を担う子ども達への投資であり、それによる「教育格差」や「選択格差」の解消は、新しい社会保障施策として、これまで以上に瀬戸市自らが積極的に取り組むべき政策だと思います。市の見解を伺います。</p> <p>② 貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差のない社会を実現するためには、実行力のある推進体制が必要となります。そうした意味で、「教育創造基金」を持つ教育部と、「子どもの今・未来応援基金」を持つ健康福祉部の取り組みが重複しない役割分担や、責任の所在など横断的な整理が必要と考えます。市は今後どのようにしていこうと考えているのか、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 瀬戸市独自の施策の実現について	<p>③ 上記②について、いつまでにそれを実行しようと考えているのか、市の意気込みを伺います。</p> <p>④ 上記③を実行するために解決しなければならない課題があるのか。また、その課題をどのように解決しようと考えているのか伺います。</p> <p>① 瀬戸市には、必要な施策を実行するための原資として、「教育創造基金」と「子どもの今・未来応援基金」がありますが、それぞれの基金の現在の積立額と、今後の積立額の見通しを伺います。</p> <p>② 必要な原資をどうやって集めるかの議論も重要と思いますが、見解を伺います。</p> <p>③ 義務教育期間の給食費や、能力があっても経済的な理由で部活動や学力向上の機会に参加できない子どもの諸経費への支援の強化も有効な手段だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ 貧困の連鎖が招く子どもの教育格差・選択格差のない社会を実現するために取り組んでいる NPO 団体等への学生ボランティア活動の参加者に対し、瀬戸市の企業と連携して採用基準の1つとしてもらうなど、社会的な評価を上げる取り組みについて、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑤ 子どもの教育格差・選択格差の解消に向けた活動に対する、瀬戸市職員のボランティア活動参加を促進するための取り組みも、お金をかけない施策の担い手として有効な手段だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>⑥ 未来を担う子どもへの支援は社会全体で担うものであり、瀬戸市、瀬戸市に関わる企業、市民が、それぞれにできる事をしていくことが大切で、子どもへの支援についての情報発信強化は、市民との信頼関係を深めることにもつながると思います。そうした改善についての考えと、いつまでにそれを実行するのかという意気込みを伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。